

仏像は、人々が「ほとけのすがた」を想像し、礼拝の対象としてふさわしい、あるいはこうあって欲しいと思う理想のすがたを造形化したものです。そのため、面長で痩せていたり、丸々とふくよかだったり、そのスタイルは造られた時代や地域によって様々です。この4展示室では、平安・鎌倉時代の仏教彫刻、そして大阪市立美術館所蔵山口コレクションをはじめとする中国の南北朝時代北魏<sup>ほくぎ</sup>から明時代にいたる1000年間の仏教彫刻をあわせて展示しています。

[ 仏像めぐり 京都・大阪・奈良・兵庫 ]

当館では、関西はもとより百数十を数える各地の寺院・神社より、多くの宝物をご寄託いただいています。

ここではその中から、4府県に所在する寺院が所蔵する仏像を展示しています。

|       |    |          |                 |         |
|-------|----|----------|-----------------|---------|
| 重要文化財 | 木造 | 四天王立像    | 平安時代 [12 世紀]    | 大阪・大門寺  |
| 重要文化財 | 木造 | 地藏菩薩立像   | 平安時代 [10 世紀]    | 奈良・薬師寺  |
|       | 木造 | 不動明王立像   | 平安時代 [11 世紀]    | 兵庫・太山寺  |
|       | 木造 | 阿弥陀如来坐像  | 鎌倉時代 [13 世紀]    | 奈良・新薬師寺 |
|       | 木造 | 獅子・狛犬像   | 鎌倉時代 [13~14 世紀] | 兵庫・太山寺  |
|       | 木造 | 天王立像     | 平安時代 [11~12 世紀] | 京都・成相寺  |
| 重要文化財 | 木造 | 阿弥陀如来坐像  | 鎌倉時代 [13 世紀]    | 大阪・専修寺  |
| 重要文化財 | 木造 | 吉祥天立像    | 平安時代 [11~12 世紀] | 奈良・薬師寺  |
|       | 銅造 | 菩薩坐像懸仏   | 平安時代 [12 世紀]    | 京都・峯定寺  |
|       | 銅造 | 蔵王権現立像懸仏 | 鎌倉時代 [13 世紀]    | 京都・三室戸寺 |

[ 北魏の優品を中心に ]

この展示室から3室にわたって中国の仏教彫刻を展示しています。

ここでは、当館山口コレクションを代表する南北朝時代北魏の作品を中心にご覧いただきます。北魏(386-534)は北方遊牧騎馬民族・鮮卑<sup>せんび</sup>の氏族タクバツにより樹立された国です。5世紀中頃より北魏は仏教によって領域支配を強化する方針をとり、それに伴い各地で盛んに仏像が造られました。

|    |                           |                  |               |
|----|---------------------------|------------------|---------------|
| 石造 | 如来坐像                      | 北魏・天安元年 [466]    | 本館蔵[山口コレクション] |
| 石造 | 菩薩交脚像龕 <sup>がん</sup>      | 北魏 [5 世紀後半]      | 本館蔵[山口コレクション] |
| 石造 | 太子半跏思惟像龕 <sup>はんかしい</sup> | 北魏・太和 16 年 [492] | 本館蔵[山口コレクション] |

|    |       |                  |               |
|----|-------|------------------|---------------|
| 石造 | 如来坐像  | 北魏・太和 18 年 [494] | 本館蔵[山口コレクション] |
| 石造 | 如来三尊像 | 北魏 [6 世紀前半]      | 本館蔵[山口コレクション] |
| 石造 | 菩薩三尊像 | 北魏・延昌 4 年 [515]  | 本館蔵[山口コレクション] |
| 石造 | 如来三尊像 | 西魏・大統 8 年 [542]  | 本館蔵[山口コレクション] |
| 石造 | 如来三尊像 | 西魏 [6 世紀中頃]      | 本館蔵[山口コレクション] |

## [ 山西・天龍山石窟将来像 ]

大きな頭部や浮彫など、いずれも石窟寺院からもたらされた作品です。石窟とは、山や崖を掘削し、その内部をくりぬいて造られた、人間が入ることができる規模の空間のことです。ここでは南北朝時代東魏から北斉・隋そして唐時代にかけて造営された天龍山石窟(山西省太原市)の諸像を展示しています。歴史に埋もれ長らく人々に忘れられていた天龍山石窟は、今からちょうど 100 年前の大正 7 年/中華民国 7 年(1918)、建築史家の関野貞(1867-1935)により「発見」されました。

|              |                |                  |               |
|--------------|----------------|------------------|---------------|
| 石造浮彫 維摩坐像    | 天龍山石窟第 3 窟 将来  | 東魏 [6 世紀中頃]      | 本館蔵[山口コレクション] |
| 石造浮彫 菩薩半跏思惟像 | 天龍山石窟第 3 窟 将来  | 東魏 [6 世紀中頃]      | 本館蔵[山口コレクション] |
| 石造浮彫 供養人立像   | 天龍山石窟第 3 窟 将来  | 東魏 [6 世紀中頃]      | 本館蔵[山口コレクション] |
| 石造 菩薩立像頭部    | 天龍山石窟第 16 窟 将来 | 北斉 [6 世紀中頃]      | 本館蔵[小野コレクション] |
| 石造 如来坐像頭部    | 天龍山石窟第 1 窟 将来  | 北斉[6 世紀中頃]       | 本館蔵[小野コレクション] |
| 石造 如来坐像頭部    | 天龍山石窟第 8 窟 将来  | 隋時代・開皇 4 年 [584] | 本館蔵[山口コレクション] |
| 石造 如来坐像頭部    | 天龍山石窟第 8 窟 将来  | 隋時代・開皇 4 年 [584] | 本館蔵[小野コレクション] |
| 石造 鳳凰像       | 天龍山石窟第 8 窟 将来  | 隋時代・開皇 4 年 [584] | 本館蔵[小野コレクション] |
| 石造 文殊菩薩像頭部   | 天龍山石窟第 9 窟 将来  | 唐時代 [8 世紀]       | 本館蔵[武藤治氏寄贈]   |

## [ 中国仏教彫刻の千年 ]

最後の展示室では、北魏から隋・唐や遼(契丹)さらには明までの各時代に造られた仏像により、中国仏教彫刻 1000 年の変遷をたどります。北魏の大型像には数多くの供養人(寄進者)のすがたや氏名が刻まれています。これは邑義(義邑)と称する仏教徒の信仰団体により造立されたことを示しています。そして唐(618-907)は、北魏と並ぶ中国仏教彫刻の最盛期であり、遣唐使などを通じ日本にも影響を与えています。しかしその後の遼(916-1125)や宋・元、明時代になると優れた仏教絵画が描かれたのに対し、石造彫刻や石窟寺院の造立・造営はあまり重要視されなくなる傾向があります。しかしながら明・清時代には優美な観音菩薩坐像が数多く造られ、日本にも舶載されました。

|              |                  |               |
|--------------|------------------|---------------|
| 石造 如来三尊像     | 北魏・景明元年 [500]    | 本館蔵[山口コレクション] |
| 石造 如来三尊像     | 北魏 [6 世紀前半]      | 本館蔵[山口コレクション] |
| 石造 菩薩三尊像     | 東魏・武定7 年 [549]   | 本館蔵[山口コレクション] |
| 石造 如来三尊像     | 西魏 [6 世紀中頃]      | 本館蔵[山口コレクション] |
| 石造 四面像       | 北周・保定 3 年 [563]  | 本館蔵[山口コレクション] |
| 石造 菩薩五尊像龕    | 北周・保定 5 年 [565]  | 本館蔵[山口コレクション] |
| 石造 如来三尊像龕    | 北齊・天保 8 年 [557]  | 本館蔵[山口コレクション] |
| 石造 菩薩立像      | 北齊~隋 [6 世紀後半]    | 本館蔵[山口コレクション] |
| 石造 如来三尊像     | 隋時代・開皇 6 年 [586] | 本館蔵[山口コレクション] |
| 石造 四面像       | 隋時代 [6 世紀後半]     | 本館蔵[山口コレクション] |
| 石造 如来五尊像     | 隋時代・大業 2 年 [606] | 本館蔵[山口コレクション] |
| 石造 如来五尊像碑    | 唐時代・永淳元年 [682]   | 本館蔵[山口コレクション] |
| 石造 如来倚坐像     | 唐時代・長安 3 年 [703] | 本館蔵[山口コレクション] |
| 石造 如来坐像龕     | 唐時代 [8 世紀前半]     | 本館蔵[田万コレクション] |
| 石造 如来坐像      | 遼時代 [11 世紀]      | 本館蔵[山口コレクション] |
| 木造 如来坐像      | 明時代 [15 世紀]      | 本館蔵[田万コレクション] |
| 銅造 観音菩薩及び脇侍像 | 明時代 [17 世紀]      | 奈良・薬師寺        |

## □ 山口コレクション中国彫刻

関西の実業家であった山口謙四郎氏(1886-1957)が大正から昭和初期にかけて一代で収集した、仏教・道教造像 125 点からなる世界的規模の中国石造彫刻コレクションです。山口氏は旧山口銀行(現、三菱 UFJ 銀行の一部)の創業者・山口吉郎兵衛氏の四男として大阪船場で生まれ、関西信託社長や関連企業の役員を務めました。そして中国の石造彫刻に強い関心を示し、南北朝時代なかでも北魏を中心に、当時まだ研究の進んでいない地方的な作品も含め網羅的に収集しました。

## □ 銘文・紀年銘

銘文とは、金属器や仏像に刻まれた文字のことです。そのなかで制作年が明らかになる元号や年月日のことを紀年銘と称しています。銘文によりその仏教・道教造像が、いつ、誰が、何のために造ったのか知ることができます。そのため銘文のある造像=在銘像は、各時代の様式差や地方性を考える上で重要なカギとなっています。